



すずしろ

～開拓・発展・完成～

7月 第4号

令和5年7月20日

開進第四中学校だより

校長 田邊克宣

『 入道雲に思いを馳せて 』

令和5年度の1学期は、世間一般に緩和ムードが広がる中、自己判断に委ねられることも多くなり、ある意味これまで以上に慎重に、試行錯誤しながらの教育活動となりました。この3か月を振り返れば、段階的・暫定的な措置を施しながら、可能な限りの様々な活動を実施できました。

7月8日（土）の学校公開には、111名の保護者の方々にご来校いただき、普段の授業の様子をご覧いただきました。受付には、PTA 役員の皆様が輪番で詰めてくださり、ありがとうございました。

11（火）には、標準服の女子ベストに係る規定について、急遽変更のお知らせを配布いたしました。“きまり”については、日々の落ち着いた生活環境維持の拠り所として、安直に改定することをよしとはいたしません。今回につきましても、生徒からの正当な要望を受け、教職員で協議を重ね、最後の調整を図る段階まで進めた時点で、体温を超える気温という、健康どころか命に係わる危険さえ生じかねない状況に直面し、急ぎ前倒しで運用開始したという次第です。細部における詰めは後にしても、健康と安全を最優先として考え、最大限迅速な対応を図れたことと考えております。生徒たちも、趣旨をよく理解し、混乱なく移行できているところは、さすが開四中生というべきでしょう。ご家庭のご協力の賜物と、感謝申し上げます。今後、必要に応じてさらに検討を重ね、よりよい教育環境の維持推進を図ってまいります。

4月からの学校生活において、授業、日々の当番・係や委員会活動に部活動の取組、そして数々の行事を成功させる中、学級・学年・学校の各集団として、開四中の成長が見られました。それはとりもなおさず、集団の一員としての個人一人一人の成長に他なりません。もちろん失敗もあり、その都度、生徒たちは自分で振り返り、その失敗を糧として、新たな成長への礎とすることを繰り返してきました。全力で走ってきた3か月を一区切りとして、待ちに待った夏休みが始まります。

さて、この夏は、何をしましょうか。

3年生は進路に向けての天王山。1、2年生も、部活動にクラブチームに夏の課題と、やることがたくさんあるでしょう。やらなければならないことをこなすだけでは、もったいない。せつかく42日間もあるのです。うまく計画を立て、時間をやりくりし、やるべきことはきちんと終わらせて、そうして普段できないことをやってみましょう。

目が離せないスマホのスイッチを切って、青空に湧き上がる入道雲を眺めていれば、ふと、今まで見過ごしていた何かに気付くことがあるかもしれません。一生でたった一度の令和5年の夏休みを、有意義に、心豊かに過ごしてください。

くれぐれも健康と安全には気を付けて。

2学期に、また君たちに会うことを、楽しみにしています。

保護者、地域の皆様におかれましては、地域の子供たちが町に帰る42日間、どうぞ温かい見守りをお願い申し上げます。

それでは、皆さん、よい夏を！！

夏休み中も学校では部活動をはじめ、様々な取組が行われます。そこで、お子様が新型コロナウイルス感染症やインフルエンザ等にかかり、参加するはずの取組をお休みする場合は、担当教職員への連絡をお願いいたします。

感染症や熱中症に気をつけて…

夏休みも健康に過ごしましょう